

普通科1年 生成 AI 活用講座

普通科1年生は、3月11日(水)にデジタルハリウッド大学准教授の茂出木謙太郎先生をお迎えし、「AI 共生時代における学びの意義と探究 — なぜ私たちは学び、大学へ行くのか —」をテーマに講話をしていただきました。

生徒の多くはスマートフォン等を利用して生成 AI に触れていますが、本講座は、生成 AI の技術的な進化や活用の可能性、そして今後の課題について、より具体的に説明していただきました。



生成 AI の技術は、複数の情報を同時に処理し、自律的にタスクを遂行する能力が向上しています。これにより、ビジネスや教育、医療分野での応用が広がり、より自然なコミュニケーションが可能になると予想されています。また、汎用人工知能(AGI)の実現に向けた研究も進んでおり、2030 年頃には人間と同等の柔軟性を持つ AI が登場する可能性があると言われています。

さらに、テスラ CEO のイーロン・マスク氏の言葉として、次のような考えも紹介していただきました。

「AI とロボットがブルーカラーからホワイトカラーまであらゆる労働を代替し、モノやサービスの生産コストが限りなくゼロに近づく。その結果、最高水準の医療や教育が無料で受けられる『ユニバーサル・ハイ・インカム』の時代が来る。生きるため・食べるために嫌な仕事をする必要はなくなる。」

講座を通して、「生成 AI は私たちの生活や働き方を大きく変える可能性を秘めている」一方、その進化を正しく活用していくためには、「技術への理解を深めるとともに、慎重に運用していくこと」が重要であることを学びました。

